



平成28年3月期 中間年次報告書

自 平成27年4月 1 日
至 平成27年9月30日

アトミクス株式会社



拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの平成27年4月1日から平成27年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成27年12月

代表取締役社長 **神保 敏和**

目 次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 四半期連結
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・株式情報… 6 頁

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により景気は緩やかな回復基調を維持しています。しかしながら、円安による物価上昇、個人消費の低迷、中国をはじめとする新興国経済の減速など依然として不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは安心、安全、補修をキーワードに新製品の開発、床・防水市場での環境対応製品の拡販活動に取り組んできました。また、海外事業については、平成27年8月17日に、中国国内市場に向けて床用塗料と道路用塗料を製造販売してきました阿童木（無錫）塗料有限公司（100%子会社）の解散を決定し、現在清算処理を進めています。これにより、整理損失引当金繰入額1億67百万円を当第2四半期連結累計期間の特別損失として計上しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高50億95百万円（前年同期 売上高52億95百万円）、営業利益61百万円（同 営業利益1億12百万円）、経常利益66百万円（同 経常利益1億48百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億54百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純利益62百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

<塗料販売事業>

床用塗料においては、今年上市した新製品と水性床塗料の拡販につとめ、環境対応に注力する工場ユーザー向けに出荷が伸び前年を上回りました。建築用塗料においては、工場及び戸建ての改修物件の減少により防水、屋根用塗料が前年を下回りました。家庭用塗料においては、DIYイベントなど販促活動を行いました。個人消費の低迷により前年を下回りました。道路用塗料においては、全国的に官公庁の工事発注量が減少したことと長期的な天候不順の影響により前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期と比べて1億43百万円減少し、48億26百万円（前年同期比 2.9%減）となりました。

<施工事業>

工事受注は順調に推移していますが、前第2四半期連結累計期間には大型の景観工事の売上を計上していることにより、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期と比べて55百万円減少し2億69百万円（前年同期比 17.2%減）となりました。

通期の見通し

平成28年3月期の通期業績につきましては、今後も官公庁の工事発注が不透明な状況が続くことや整理損失引当金繰入額により、売上高116億円（前連結会計年度 111億42百万円）、営業利益3億20百万円（同 2億87百万円）、経常利益3億30百万円（同 3億52百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益1百万円（同 2億19百万円）を見込んでいます。

事業の概要

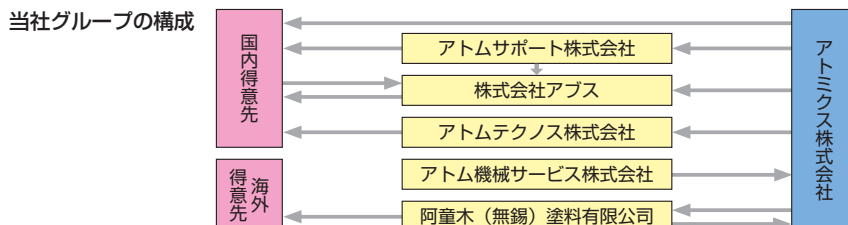
当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社と海外子会社1社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。

塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材、ハードコート材など機能性コーティング材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、ホームセンターを顧客とする物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。



※阿童木（無錫）塗料有限公司は清算手続き中です。

経営の基本方針

当社グループは、塗料・コーティング材・交通安全の領域において「独創性に溢れた発想」と「高度な複合化技術」によって開発した製品と関連するサービスを提供することにより「安全かつ快適な住環境・屋外環境」を実現し、「生活者との信頼関係」を築くことで「社会に貢献すること」を経営の基本方針としています。

また、塗料販売事業と施工事業において、床用・屋根用・防水用などの建築用塗料、DIY用・ホームケア商品などの家庭用塗料、機能性コーティング材、路面標示材などの道路用塗料と施工機械、これらに関するサービスを提供し、それぞれの分野でナンバーワン・オンリーワンを目指します。

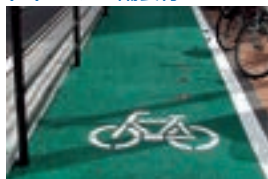
代表的な製品群は次のとおりです。

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化工夫をはじめ、水性型、溶剤型、溶融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

(2) カラー舗装材



歩車道分離や自転車通行帯などのカラー化による走行区分で歩行者や自転車の安全に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫のコンクリート床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

(4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

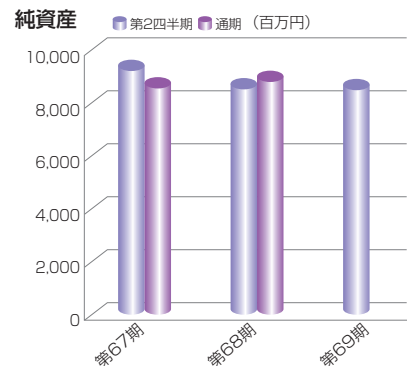
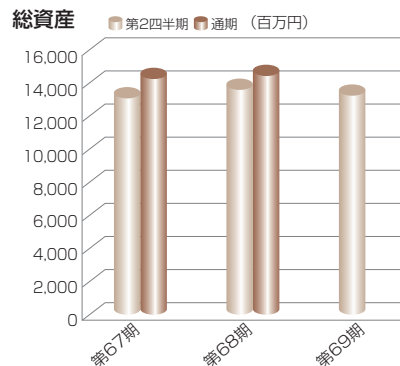
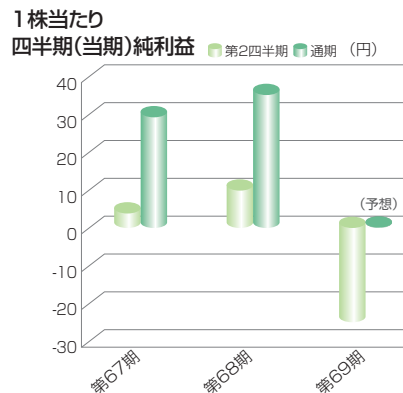
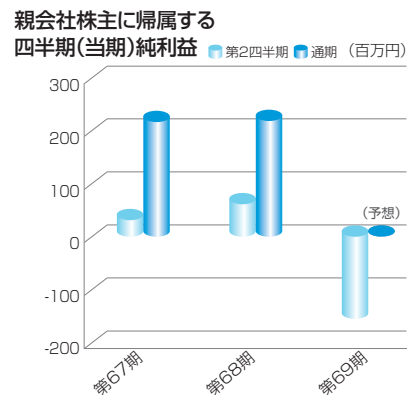
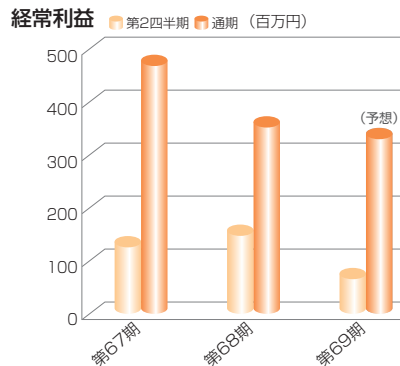
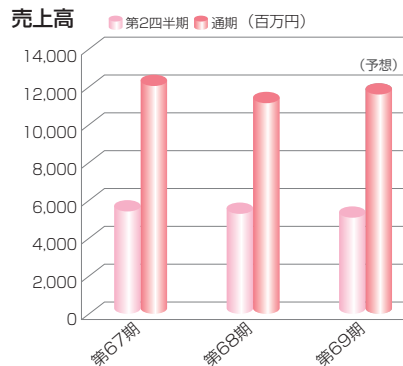
(5) 無機-有機ハイブリッドコーティング



無機-有機ハイブリッド樹脂にお客様の求める高度なニーズを付加し、新たな製品展開と事業展開で貢献しています。

業績の推移

当社グループの業績の推移



区 分	第67期 平成26年3月期		第68期 平成27年3月期		第69期 平成28年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期 (予想)
売上高 (百万円)	5,423	12,052	5,295	11,142	5,095	11,600
経常利益 (百万円)	126	468	148	352	66	330
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(△は損失) (百万円)	32	217	62	219	△ 154	1
1株当たり四半期 (当期)純利益(△は損失) (円)	3.89	29.28	9.93	35.16	△ 24.82	0.16
総資産 (百万円)	13,054	14,244	13,568	14,413	13,226	—
純資産 (百万円)	9,196	8,531	8,504	8,783	8,472	—

四半期連結決算報告(要約)



■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 平成27年3月31日現在	当第2四半期末 平成27年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	8,756,933	7,719,916
固定資産	5,656,717	5,506,435
有形固定資産	4,765,084	4,687,441
無形固定資産	217,290	198,531
投資その他の資産	674,342	620,462
資産合計	14,413,651	13,226,352
(負債の部)		
流動負債	4,230,463	3,453,588
固定負債	1,399,442	1,300,057
負債合計	5,629,905	4,753,646
(純資産の部)		
株主資本	8,478,908	8,227,616
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	692,570	692,570
利益剰余金	7,152,578	6,901,194
自己株式	△ 406,239	△ 406,148
その他の包括利益累計額	304,836	245,089
その他有価証券評価差額金	206,055	179,580
為替換算調整勘定	103,921	69,800
退職給付に係る調整累計額	△ 5,139	△ 4,292
純資産合計	8,783,745	8,472,705
負債純資産合計	14,413,651	13,226,352

■ 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	当第2四半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
売上高	5,295,219	5,095,955
売上原価	3,789,434	3,573,668
売上総利益	1,505,785	1,522,286
販売費及び一般管理費	1,393,454	1,461,175
営業利益	112,330	61,111
営業外収益	41,951	11,908
営業外費用	5,740	6,613
経常利益	148,541	66,406
特別利益	1,976	2,595
特別損失	6,462	167,591
税金等調整前四半期純利益(△は損失)	144,056	△ 98,588
法人税、住民税及び事業税	36,082	32,584
法人税等調整額	45,956	23,769
四半期純利益(△は損失)	62,017	△ 154,942
親会社株主に帰属する四半期純利益(△は損失)	62,017	△ 154,942
その他の包括利益	△ 9,626	△ 59,747
四半期包括利益	52,390	△ 214,690

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	当第2四半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,592	197,011
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 426,818	△ 464,917
財務活動によるキャッシュ・フロー	534,191	△ 186,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3,374	△ 6,377
現金及び現金同等物の増減額	221,591	△ 460,392
現金及び現金同等物の期首残高	2,324,201	2,706,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,545,792	2,246,381



1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社
 本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
 創業 昭和12年2月
 資本金 10億4,000万円
 従業員数 238名 (嘱託社員12名を含む
 (嘱託社員は平均人数で算出))

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
 支店 大阪府大東市
 営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・
 名古屋・広島・福岡
 工場 加須・久喜・岡山

3. 役員

代表取締役社長 神保敏和
 取締役副社長 喜多幸一
 取締役 船橋輝男
 江森邦昭
 村岡正己
 花形裕透
 小川博巳
 富士田学
 常勤監査役 佐藤亮介
 監査役 上原左多男 (社外)
 石川伸吾 (社外)

4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 7,242,000株
 株主数 639名
 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
西川不動産株式会社	978千株	15.21%
アトミクス取引先持株会	866	13.47
東京中小企業投資育成株式会社	700	10.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	321	4.99
西川正洋	280	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75715口)	187	2.91
アトミクス社員持株会	184	2.87
東洋テック株式会社	126	1.95
楠本化成株式会社	106	1.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	106	1.64

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する187,200株を除いた自己株式(812,614株)を除いて算出しています。

5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所・特別口座管理機関
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先・送付先
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 証券コード 4625
 公告の方法
 電子公告 URL <http://www.atomix.co.jp>
 (やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞により公告いたします。)

ATOMIX

<http://www.atomix.co.jp>